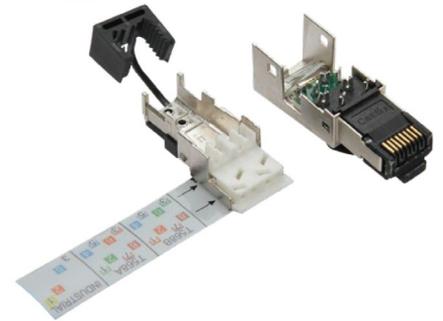


RJ45金属性プラグ フィールドプラグプロ

組み立て手順書



組み立て手順 1 ケーブル外皮剥き

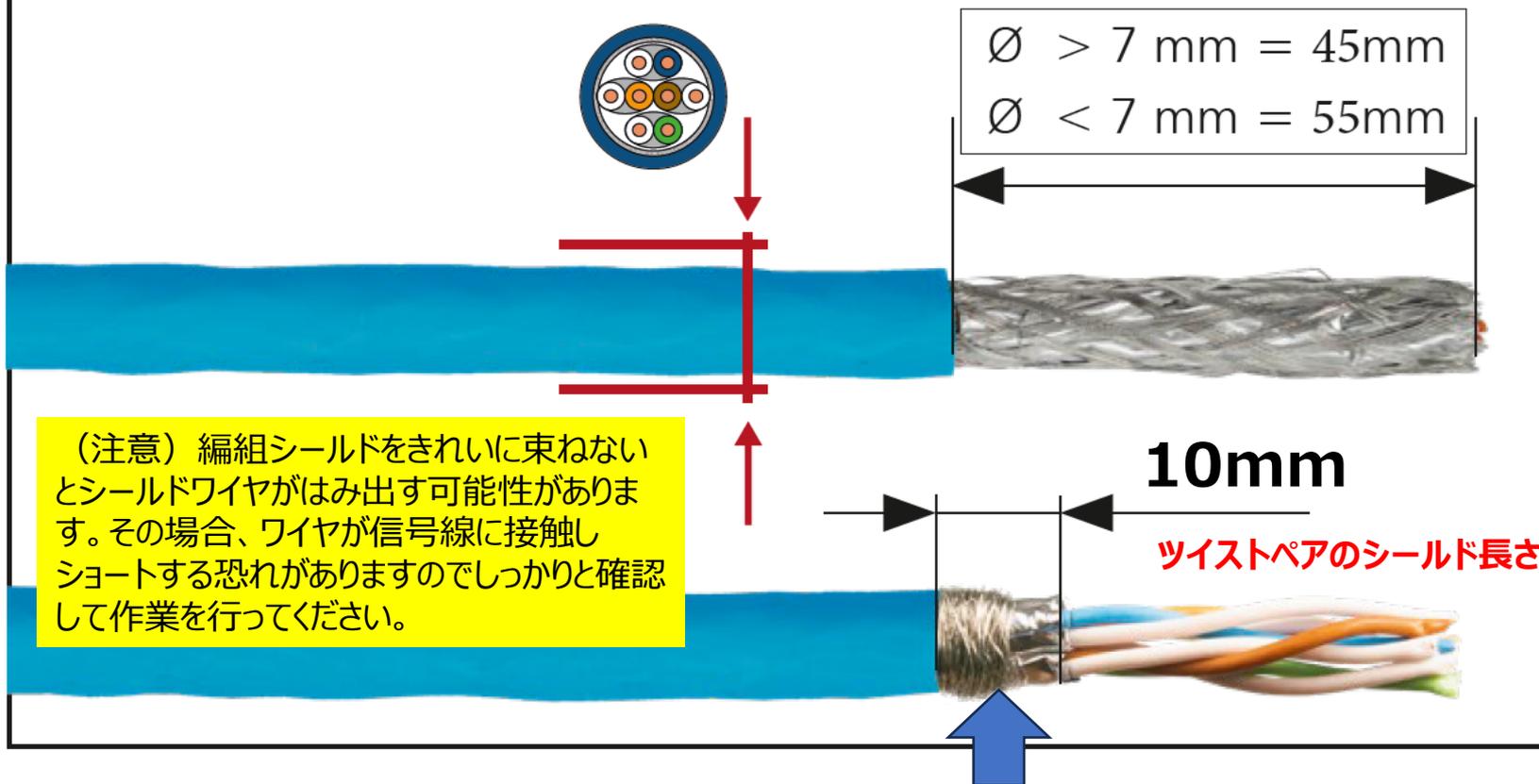
1

ケーブル外径

Outer diameter of cable sheath

$\varnothing > 7 \text{ mm} = 45\text{mm}$

$\varnothing < 7 \text{ mm} = 55\text{mm}$



編組シールドは束ねて撚撚って一本にしてください。
末端部はニッパできれいに切りそろえてください。
その後信号線外周に巻き付けてください。
長手長さは3~5mm程度になります。

組み立て手順 2 信号線、シールド処理

2

斜めにカット

コネクタ下段の信号線貫通穴に通しやすくするための手順です。斜め方向は左右どちらでも構いません。傾斜を付けすぎて斜めにカットしますと一番短い線が必要長さに到達しない場合がありますのでご注意願います。

(注意) この時点で、上下信号線を配置する位置に定めてください。下段挿入後、上段の信号線の移動は困難になります。



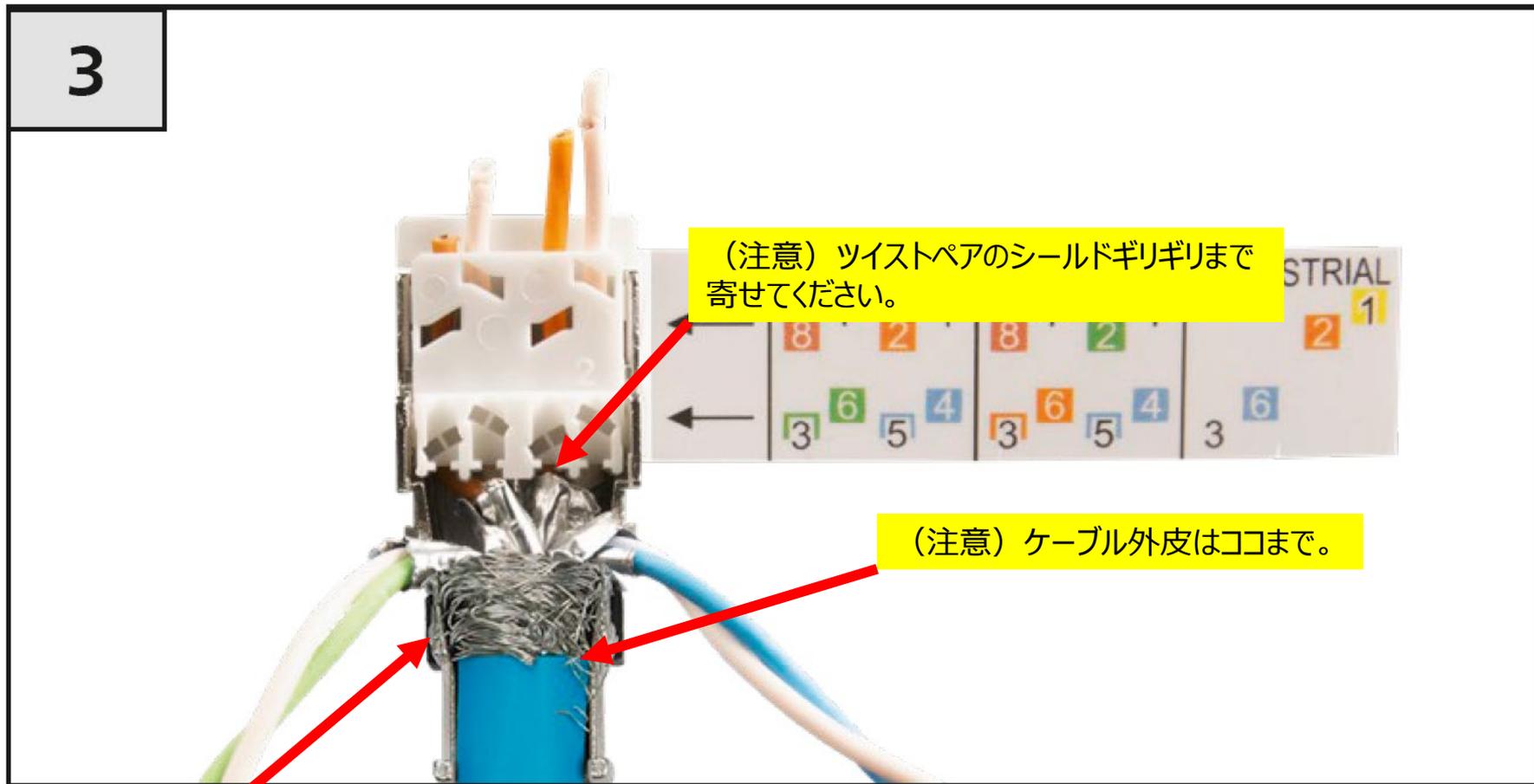
組み立て手順 3 下部台座の貫通穴へ配線

3

(注意) ツイストペアのシールドギリギリまで寄せてください。

(注意) ケーブル外皮はココまで。

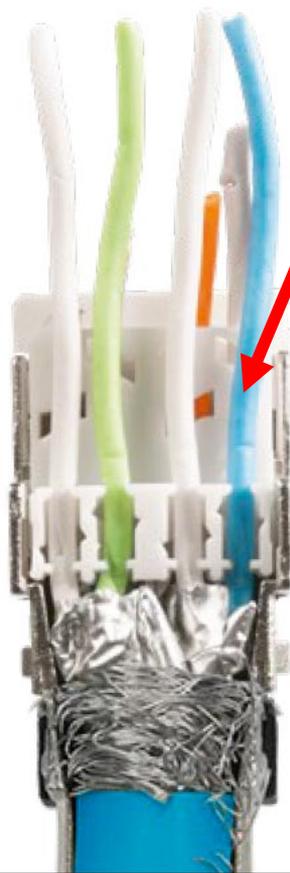
(注意) コネクタテーパ部分に編組メッシュが来るように位置決めしてください。



組み立て手順 4 上部台座の溝に配線

4

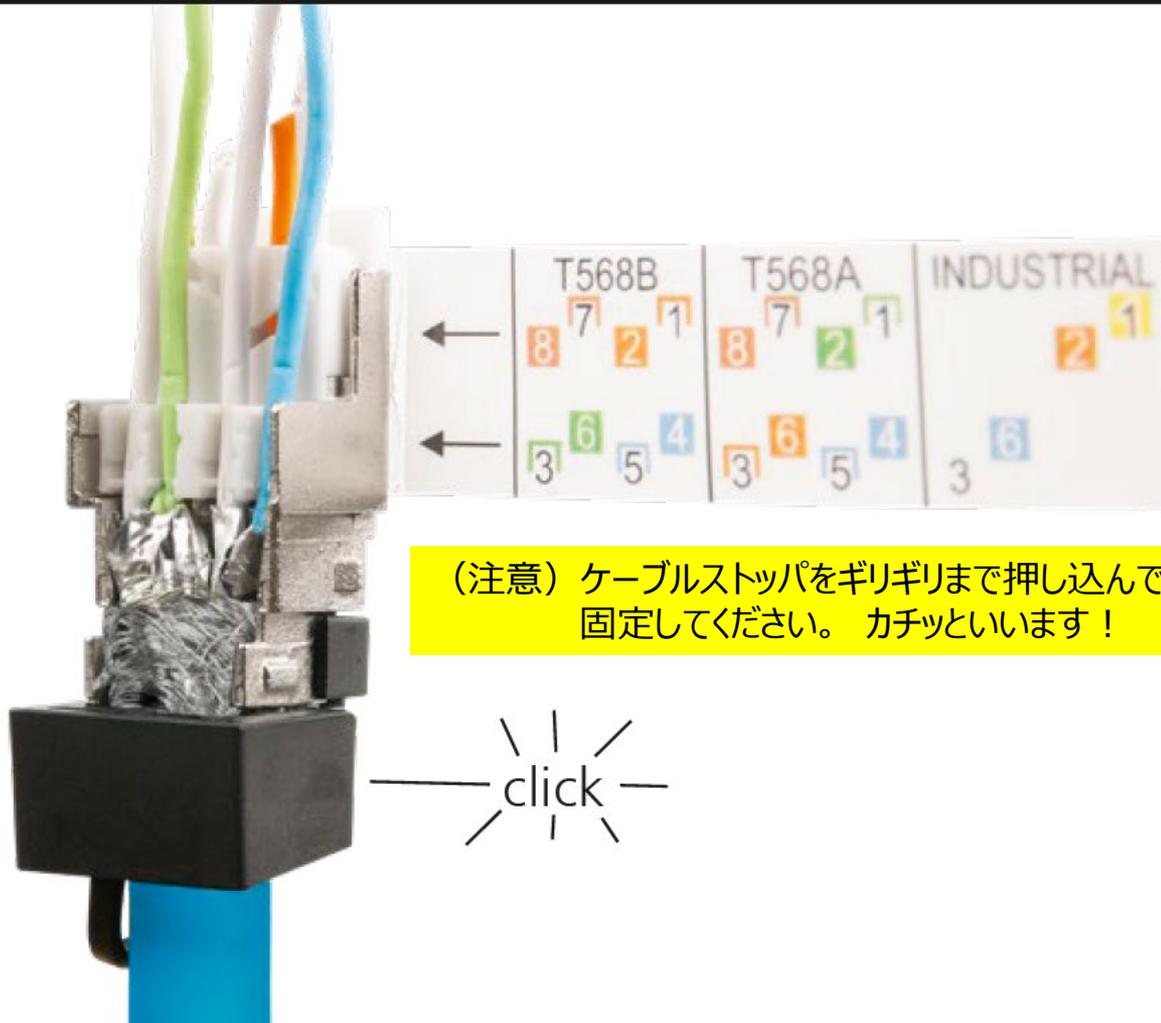
(注意) 青、緑の信号線ペアを上段の溝に奥まで差し込んでください。細いドライバー等でシースを損傷しないように押し込むことも可能です。



	T568B	T568A	INDUSTRIAL
←	8 7 2 1	8 7 2 1	2 1
←	3 6 5 4	3 6 5 4	3 6

組み立て手順 5 ケーブルの固定

5



(注意) ケーブルストッパをギリギリまで押し込んでケーブルを固定してください。カチッとあります！

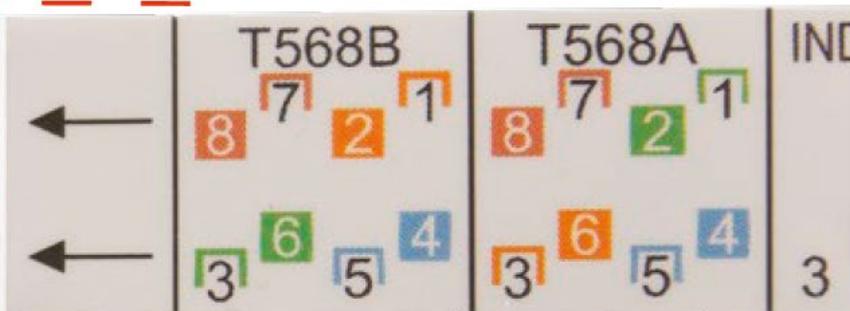
click

組み立て手順 6 信号線の切断

(注意) 細いニッパでケーブルの“はみ出し部”を全てカットしてください。

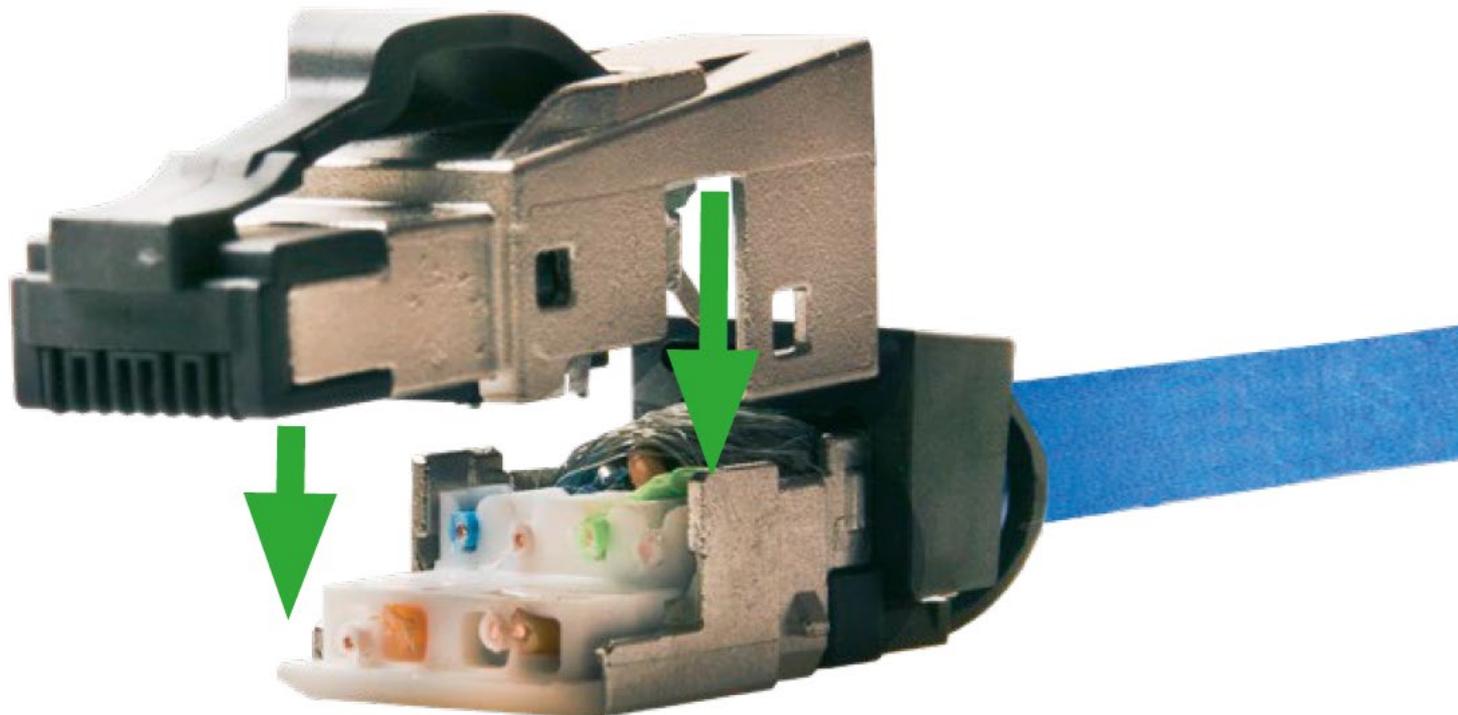
6

cut flush



組み立て手順 7 上部金属カバー装着

7



組み立て手順 8 プレス位置

8

(注意) この部分をプライヤーでプレスしてください。



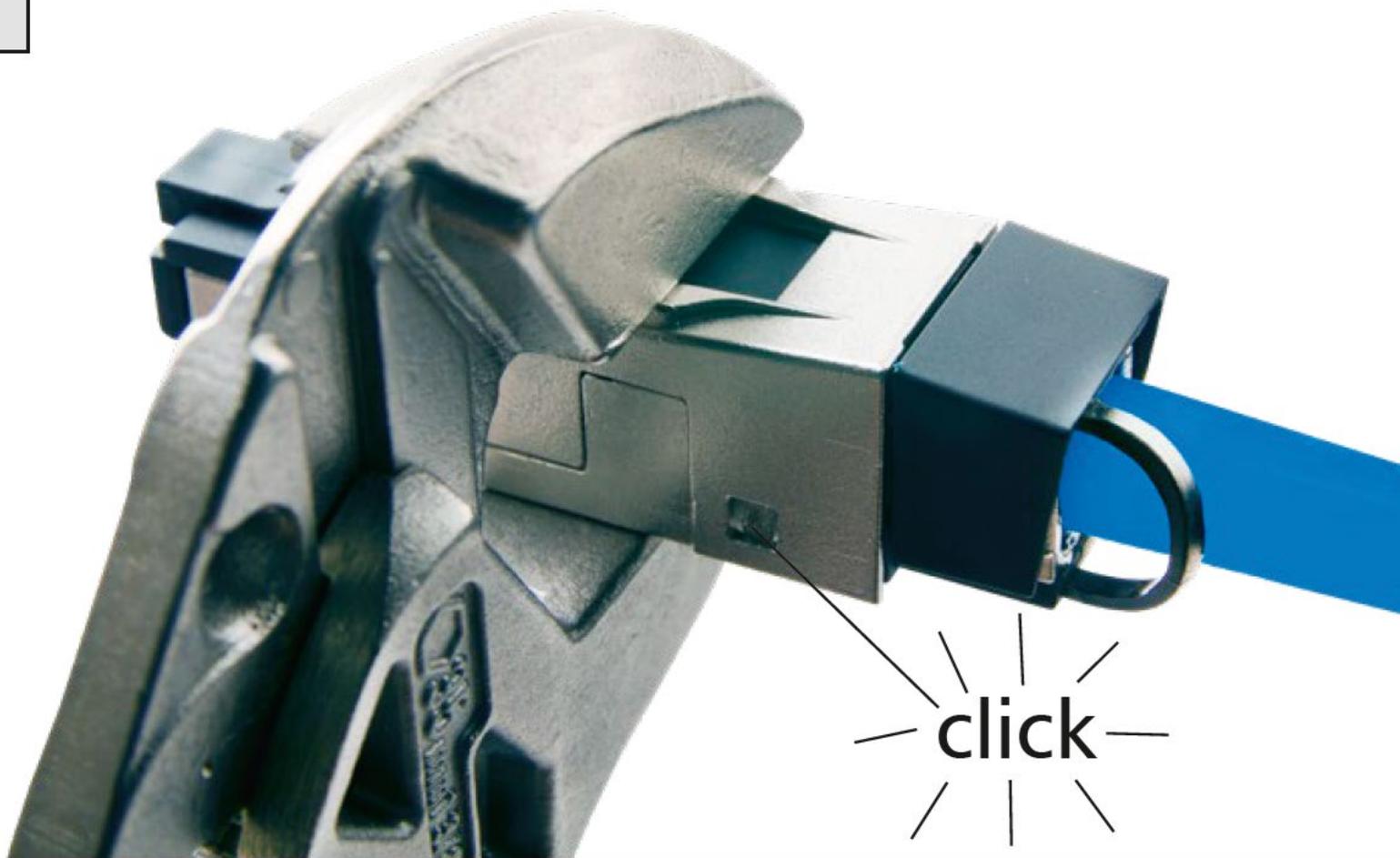
press area



組み立て手順 9 プレス作業

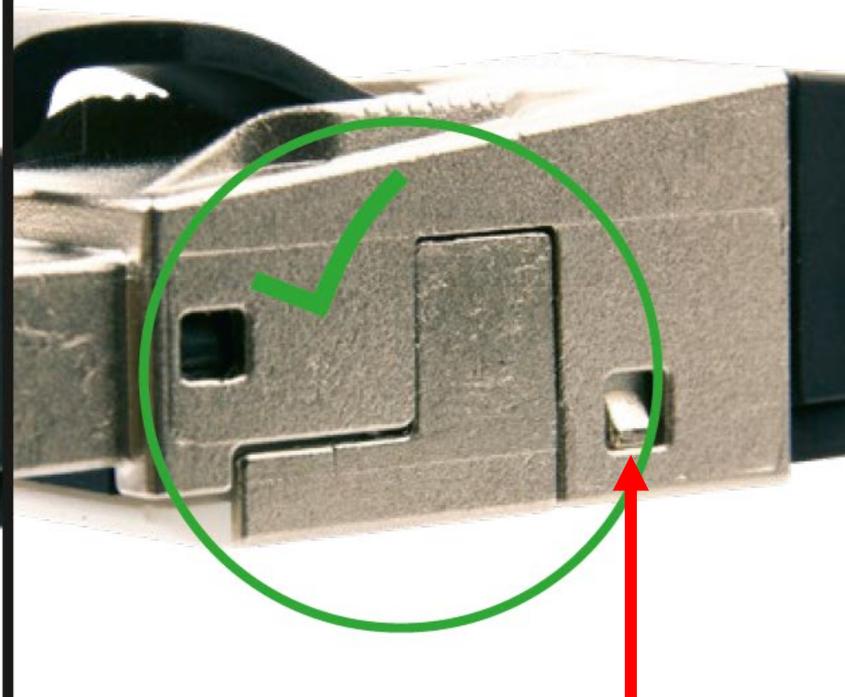
9

(注意) 正しくプレスされた場合、ノッチに引っかかる“カチッと”音が聞えます。



組み立て手順10 最終確認

10



(注意) ノッチに引っかかりロックされていることを目視で確認してください。

組み立て手順11 信号確認

METZ CONNECT-KAPRi LANテスター



部品番号140302-E

検出可能なエラー

1. 高電圧漏電の信号線番号を表示
2. ケーブルが接続されていない
3. 断線の信号線番号を表示
4. ショートしている信号線番号を表示
5. 結線間違いの信号線番号を表示
6. 設定スイッチの設定ミス（8極、4極）
7. ローバッテリー
8. **ペア配線間違い**の信号線番号を表示
9. シールドが接地されていない
10. **接触不良** 連続アナログ測定

推奨工具

平行プライヤー



部品番号140301-E

ケーブルストリッパー



部品番号140302-E

取り外し手順 1 ノッチのロックを外す

1



(注意) 片側のノッチのロックを外すため、細いードライバーを下部から挿入し上部にスライドする方向に力を入れて少しずつずらしてください。
この工程で、強く横方向に力を入れて開くと、本体ダイキャストが変形または割れ生じる可能性があります。変形、我が生じた場合は新しい物に交換してください。
極力、横方向には力を入れないようにしてください。

取り外し手順 2 上部へスライド

